

学科 学年	S 2	科目 分類	数学A I Math. I	講義 必修	H. 18後期 2 単位	学習教育 目標 B	担当	谷 次雄 TANI Tsugio
概 要	積分法とその応用である。							
科目目標 (到達目標)	定積分の定義の理解、微分積分の基本定理の理解、初等関数の不定積分を求めることができるようになること、応用として面積、回転体の体積、表面積等についてである。							
教科書 器材等	新訂微分積分1(大日本図書),新訂微分積分1問題集(大日本図書), 高専の数学 1, 2 問題集(森北出版)							
評価の基準と 方法	試験の成績で100%評価する。黒板への問題解答を忘ったとき、真摯な学習態度でないとき、課題を提出しないときは最大20%まで減点する。試験の成績が不良の者は指定した課題のレポート、または再試験が良好ならば20%を限度としてプラスすることもある。							
関連科目	2年数学AIと1年の数学AI、数学AII、数学B							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1回	×	定積分1						
第 2回		定積分2						
第 3回		不定積分						
第 4回		定積分と不定積分の関係1						
第 5回		定積分と不定積分の関係2						
第 6回		定積分の計算						
第 7回		演習						
第 8回		置換積分法1						
第 9回		置換積分法2						
第10回		定積分の置換積分法						
第11回		演習						
第12回		部分積分法1						
第13回		部分積分法2						
第14回		演習						
第15回		定期試験						
第16回		分数関数の積分						
第17回		無理関数の積分						
第18回		三角関数の積分1						
第19回		三角関数の積分2						
第20回		演習						
第21回		図形の面積						
第22回		曲線の長さ						
第23回		立体の体積						
第24回		回転面の面積						
第25回		演習						
第26回		媒介変数による図形						
第27回		極座標による図形						
第28回		変化率と積分						
第29回		広義積分						
第30回		定期試験						
オフィス アワー	原則として授業、会議、クラブ指導等のないとき、研究室前に掲示する。							
授業アンケート への対応	予定した項目をすべて教える。							
備 考								
更新履歴	2006/1/25							